|  |
| --- |
| **１．研究の目的・意義**研究の目的・意義について、課題の内容に照らした問題意識、その課題との関連性並びに人文学・社会科学に固有の本質的・根源的な問いを追究する意義を明確にした上で、具体的かつ明確に記述してください。 |

**※１頁以内で記入してください。**

|  |
| --- |
| **２．研究内容・方法**本プログラムの趣旨及び課題の内容を念頭に置いて、何を、どのような方法を用いて、どこまで明らかにしようとするのかについて、以下の点を含め具体的かつ明確に記述してください。・人文学・社会科学に固有の本質的・根源的な問いをどのように追求し、人文学・社会科学研究をどのように新たに展開・発展させるのか。・パラダイムの革新や創造をどのように目指すのか。・現状の諸課題やそれに対する取組を踏まえながら、解決方策が十分には探究されていない、あるいは問題が顕在化していない30年～50年先の国際社会や我が国社会を見据えた長期的な視座が必要なもので、かつ人文学・社会科学が中心となって取り組むことが適当と考えられるものであるか。 |

**※１頁以内で記入してください。**

|  |
| --- |
| **３．研究計画**研究目的を達成するための現時点における具体的な研究計画を記載してください（何をどこまで行うか）。※令和３(2021)年度～令和８(2026)年度の各年度に分けて、記載してください。 |

**※４頁以内で記入してください。**

|  |
| --- |
| **４．研究成果及び波及効果**提案された研究の実施により期待される研究成果及び波及効果について、以下の点を含め、具体的かつ明確に記述してください。・どのような点が先導的であるか。・研究成果がどのように課題に関する有意義な応答を社会に提示するのか。・研究成果がどのように人文学・社会科学の振興に寄与するのか。・研究成果をどのように公開・普及させるか。・研究成果及びその普及によって、より広い学術や社会の発展への寄与が期待できるか。 |

**※１頁以内で記入してください。**

|  |
| --- |
| **５．研究プロジェクトチームの体制**研究プロジェクトチームの組織、研究の分担等を分かりやすく記述してください。※氏名、所属（機関名・部局・職）、専門分野、役割分担、エフォート（国内の研究機関に所属する研究者以外の方は記入不要）、年齢（令和3年10月1日現在）　を記入します。※記入例　　・研究代表者　　　　学振一郎　　◇◇大学・○○学部・教授（○○学）　　【研究総括】（エフォート：○○％）（○○歳）　　・グループリーダー　学振花子　　□□大学・○○学部・准教授（○○学）　【・・・グループ・・担当】（エフォート：○○％）（○○歳）　　・分担者　　　　　　学振三郎　　△△大学・☆☆学部・助教（○○学）　　【・・・グループ・・担当】（エフォート：○○％）（○○歳） |

（注）採択された場合、「５.研究プロジェクトチームの体制」に記載された情報は振興会ウェブサイト等で公開されます。（ただし、エフォート及び年齢は非公開とします）

**※おおむね１頁以内で記入してください（上限３頁）。**

|  |
| --- |
| **６．研究プロジェクトチームの適切性**研究計画を遂行するための研究実施体制の適切性について、研究代表者、グループリーダー及び分担者の具体的な役割、研究目的との関連性・必要性を含めて簡潔に記述してください。※研究実施体制の多様性が明らかになるように記述してください。 |

**※おおむね１頁以内で記入してください（上限３頁）。**

|  |
| --- |
| **７．人権の保護及び法令等の遵守への対応**研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置について記述してください。個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。該当しない場合には、その旨記述してください。 |

**※１頁以内で記入してください。**

|  |
| --- |
| **８．研究費（直接経費）積算内訳**e-Rad応募情報の研究経費に記入している各年度の研究費（直接経費）の積算内訳を記載してください。研究費（直接経費）のみ記載し、間接経費は含めないでください。 |

**※令和３(2021)年度、４(2022)年度の積算内訳を１頁以内で記入してください。**

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和３(2021)年度（10月～３月） | 令和４(2022)年度 |
| 物品費 | 　 | 　 |
| 旅費 | 　 | 　 |
| 人件費・謝金 | 　 | 　 |
| その他 | 　 | 　 |

**※令和５(2023)年度、６(2024)年度の積算内訳を１頁以内で記入してください。**

（８．研究費（直接経費）積算内訳の続き）

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和５(2023)年度 | 令和６(2024)年度 |
| 物品費 | 　 | 　 |
| 旅費 | 　 | 　 |
| 人件費・謝金 | 　 | 　 |
| その他 | 　 | 　 |

**※令和７(2025)年度、８(2026)年度の積算内訳を１頁以内で記入してください。**

（８．研究費（直接経費）積算内訳の続き）

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和７(2025)年度 | 令和８(2026)年度 |
| 物品費 | 　 | 　 |
| 旅費 | 　 | 　 |
| 人件費・謝金 | 　 | 　 |
| その他 | 　 | 　 |

|  |
| --- |
| **９．研究経費の妥当性・必要性**研究規模、研究実施体制を踏まえ、「８．研究費（直接経費）積算内訳」に記入する研究経費の積算根拠、必要性及びその妥当性について簡潔に記述してください。 |

**※１頁以内で記入してください。**

**《研究費の応募・受入の状況》**

**※１頁以内で記入してください。**

**(研究代表者用)**

|  |
| --- |
| 　**研究代表者**の現時点における、（１）応募（申請）中の研究費（本研究を含む）、（２）受入中（予定を含む）の研究費について記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。　※研究費：公的および民間の競争的資金、所属研究機関内で競争的に配分される研究費等 |
| （１）応募（申請）中の研究費 |
| 資金制度・研究費名・研究期間（配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割（代表・分担の別） | 令和３(2021)年度研究経費（千円）（研究期間全体の額） | エフォート率(%) |
|  |  |  |  |  |
| （２）受入中（予定を含む）の研究費 |
| 資金制度・研究費名・研究期間（配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割（代表・分担の別） | 令和３(2021)年度研究経費（千円）（研究期間全体の額） | エフォート率(%) |
|  |  |  |  |  |

研究費の配分を受ける研究者毎に別葉で作成

**《研究費の応募・受入の状況》**

**※研究費の配分を受ける研究者１名あたり、１頁以内で記入してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究者名 |  | 所属研究機関・部局・職 |  |
| 　現時点における、（１）応募（申請）中の研究費（本研究を含む）、（２）受入中（予定を含む）の研究費について記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。　※研究費：公的および民間の競争的資金、所属研究機関内で競争的に配分される研究費等 |
| （１）応募（申請）中の研究費 |
| 資金制度・研究費名・研究期間（配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割（代表・分担の別） | 令和３(2021)年度研究経費（千円）（研究期間全体の額） | エフォート率(%) |
|  |  |  |  |  |
| （２）受入中（予定を含む）の研究費 |
| 資金制度・研究費名・研究期間（配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割（代表・分担の別） | 令和３(2021)年度研究経費（千円）（研究期間全体の額） | エフォート率(%) |
|  |  |  |  |  |

責任機関情報・研究費の経理管理体制

|  |
| --- |
| **●責任機関情報** |

・機関名：

・代表者氏名・役職（法人の長など）：

・本部所在地：

〒

住所：

|  |
| --- |
| **●経理担当者（例：経理担当部署の係長等）**　※責任機関の事務局で研究費の管理執行を担当する者を、事務局に確認の上、記載してください。 |

・氏名：

・所属部署・役職：

・所在地：

〒

住所

・電話：

・FAX：

・E-mail：

|  |
| --- |
| ●事務担当者連絡先　※責任機関の事務局で、振興会との連絡窓口となる担当者を、事務局に確認の上、記載してください。上記の経理管理責任者又は経理担当者と同一の場合は、氏名欄に、「同上」と記載してください。 |

・氏名：

・所属部署・役職：

・所在地：

〒

住所

・電話：

・FAX：

・E-mail：

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業

（学術知共創プログラム）

応募内容提案書（添付ファイル項目）・記入要領

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ●応募内容提案書（添付ファイル項目）の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づき、研究代表者が責任を持って作成してください。**●所定の様式の改変は認めません。**　　ただし文字フォントについては10.5pt～12ptで作成することができます。●日本語でご記入ください。●各様式のページ数、図表使用の可否については下表のとおりです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 様式 | ページ数 | 図表の使用 |
| 頁数 | 頁追加の可否 |
| １．研究の目的・意義 | １頁以内 | × | ○ |
| ２．研究内容・方法 | １頁以内 | × | ○ |
| ３．研究計画 | ４頁以内 | × | ○ |
| ４．研究成果及び波及効果 | １頁以内 | × | ○ |
| ５．研究プロジェクトチームの体制 | おおむね１頁 | ○（上限３頁） | × |
| ６．研究プロジェクトチームの適切性 | おおむね１頁 | ○（上限３頁） | ○ |
| ７．人権の保護及び法令等の遵守への対応 | １頁以内 | × | ○ |
| ８．研究費（直接経費）積算内訳 | ３頁 | × | × |
| ９．研究経費の妥当性・必要性 | １頁以内 | × | ○ |
| 研究費の応募・受入の状況 | 研究者１名につき１頁以内 | ○（研究者の人数に準じる） | × |
| 責任機関情報・研究費の経理管理体制 | １頁 | × | × |

●採択された場合に公開される情報について以下の項目に記載された内容は、採択された場合、振興会ウェブサイト等で公開されます。・「５．研究プロジェクトチームの体制」 |

**任意記載事項**

|  |
| --- |
| **本研究テーマにおける評価の観点（指標）の提案　※審査には使用いたしません。**本事業における研究実践の成果の評価は、原則として公募要領６．（２）「学術知共創プログラム」の審査に当たっての主な要素と観点に記載されている審査の観点に基づき評価を行うことになりますが、本研究テーマの研究成果を最も適切に評価することができると考えられる観点（指標）がありましたら、提案してください。なお、提案された観点（指標）は実際に本研究テーマの研究実践の成果の評価に使用する場合があります。実際に使用するか否かについては採択後に通知します。【留意事項】・本欄は任意記載項目であり、必須記載項目ではありません。・提案された観点（指標）については、客観的に検証できるものとします。 |

**※２頁以内で記入してください。**

補足説明　※応募書類作成時には本記述（灰色の文字の部分）は削除願います。

「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト（審議のまとめ）」（令和３(2021)年１月文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 人文学・社会科学特別委員会）において、「研究実践の成果の評価は、支援期間中に発表した論文や書籍の数などの指標を活用することに加え、例えば、本質的・根源的な問いに対する探究を深めることに進展があったか、パラダイムの革新や創造を目指して取り組んだか、研究者間のネットワークの構築や人文学・社会科学と自然科学の双方に精通する人材育成に寄与したか、国際ネットワークのハブを形成することができたか、など多角的な視点から行うこと」といった指摘がなされ、多角的な視点の一例として「研究者の意欲をより一層高める観点から、研究者自身に評価指標を提案させ、当該指標を活用することも考えられる。」が示されているところです。これを踏まえ、応募者の方から評価の観点（指標）をご提案いただき、評価の際に活用させていただければと考えております。